

# 平成30年度 事業計画書

---

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益財団法人 福井観光コンベンションビューロー

---

## I 事業方針

---

今年、NHK 大河ドラマ「西郷どん」など、明治維新 150 周年で幕末史への関心が高まっている中、「ふくい桜まつり 越前時代行列」(4 月)や「幕末明治福井 150 年博」(3~11 月)が開催される。さらに、秋には、50 年ぶり二巡目となる「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会が開催されるなど、昨年以上に多くの来訪者が予想される場所である。また、1 月の小松空港台湾便の LCC 就航や 6 月の住宅宿泊事業法(民泊新法)施行など、訪日旅行者数増加の更なる追い風も予想されている。

こうした状況下、コンベンション振興事業においては、県・市町・民間事業者等との連携を強化し、県内の会議施設及び宿泊施設の情報収集やデータシステム構築などを進め、情報の効率的な管理・活用を図りながら、首都圏や県内の主催団体及びキーパーソンに対し、積極的に誘致活動を展開していく。

また、北陸新幹線敦賀延伸に向け、コンベンション誘致施策の核をなす「開催助成金制度」の拡充を図るとともに、福井ならではの特色を活かした様々なメニューを提供するなど、多様な主催者ニーズに対応しうる受入環境整備に取り組んでいく。

観光振興事業においては、「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催に向けて、県や市と連携し、観光情報や賛助会員情報などを発信する。

併せて、訪日外国人を含む観光客のニーズの多様化に対応するため、市内の様々な事業者・団体と連携し、観光関連人材の育成及び観光メニューの充実を図るとともに、より魅力的な着地型旅行商品の提供のため、財団として地域限定旅行業の取得に取り組んでいく。

また、引き続き、ウェルカムセンター(福井市観光案内所)運營業務や無料定時・オーダーメイドガイドなどの案内体制も強化しながら、「福井市観光振興計画」に基づく、福井を訪れた方を温かく迎え、「また来たい」と思っただけの観光まちづくりの推進に努めていく。

## II 事業内容

( )内は事業費、残額は人件費と共通事務費

### 1. コンベンション振興事業（公益目的事業1）

(1) コンベンション誘致・支援事業 **【32,291千円（23,669千円）】**

1) コンベンション誘致事業 [9,833千円（3,656千円）]

① 誘致勧誘事業 <<9,077千円（3,544千円）>>

(ア) 首都圏等誘致活動 <<4,545千円（856千円）>>

県内各大学の教授会構成員、宿泊事業者、各種団体等のキーパーソンへの誘致活動で得られた情報に基づき、首都圏等の主催団体やコンベンションの企画・運営専門企業であるPCO等を訪問し、支援制度の説明及びユニークベニュー等を提案し、コンベンション誘致の促進に努める。

効果的な誘致活動を展開するため、県及び市の東京事務所との連携強化を図る。

また、日本政府観光局（JNTO）、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）主催の会議・セミナー、全国のコンベンション推進団体などの協議会へ参加し、誘致に関する最新の動向を収集し、開催誘致に活かす。

<JCCB ビューロー部会> 第1回：鹿児島市（7月） 第2回：未定  
<中部コンベンション連絡協議会> 伊勢市（9月）

(イ) 国際MICEエキスポ（IME）出展事業 <<2,238千円（394千円）>>

国内唯一のMICE見本市へ出展し、国内外の会議主催者と商談及び情報収集・提供を行い、県内開催を促進する。

(ウ) MICE誘致促進対策事業 <<2,294千円（2,294千円）>>

誘致活動で得られた情報・商談内容・誘致先情報のデータベースを整備し、一元管理を行い、効率的な情報管理及び誘致活動に活用する。

また、開催地決定に際し最も重要視される、会場・宿泊施設のキャパシティ情報等を掲載したパンフレットを作成し、誘致促進を図る。

さらに、国内外の旅行会社・各種団体等へのPRや商談を行う『VISITJAPANトラベル&MICEマート2018』を始めとする各商談会に出展し、情報収集及び誘致活動を行う。

② 誘致促進事業 <<756千円（112千円）>>

(ア) 福井県コンベンション誘致促進会議 <<69千円（13千円）>>

国際会議や全国規模のコンベンション誘致を促進するため、県内の経済団体や大学などの関係者を対象とした会議を開催し、誘致連携体制を強化する。

(イ) コンベンション市町連絡会 <<102千円（18千円）>>

県内でのコンベンション開催に係る誘致・支援の連携強化を目的に、県及び県下16市町による「コンベンション市町連絡会」を開催する。

(ウ) 県外コンベンション機関連携会議 <<585千円（81千円）>>

「4都市（福井・鳥取・浜松・長野）コンベンションビューロー連携会議」による情報交換及びJCCBへの参画。

2) コンベンション支援事業 [22,458千円 (20,013千円)]

① 開催等助成金事業 ≪18,563千円 (18,563千円)≫

コンベンション開催に伴う地域経済の活性化を目的に、県内でコンベンションを開催する主催者に対して開催助成金を交付する。

(ア) コンベンション開催助成金 <13,385千円 (13,385千円)>

(イ) アトラクション助成金 < 980千円 ( 980千円)>

(ウ) シャトル便運行助成金 < 500千円 ( 500千円)>

(エ) 観光視察助成金 < 930千円 ( 930千円)>

(オ) 海外 MICE 助成金 <1,500千円 (1,500千円)>

(カ) 嶺南特別加算 < 238千円 ( 238千円)>

(キ) その他助成金 <1,030千円 (1,030千円)>

尚、平成31年度から制度内容を拡充し、誘致の促進を図る。

② 歓迎支援事業 ≪2,995千円 (550千円)≫

大型コンベンションを対象に、福井の玄関口である JR 福井駅改札口等への歓迎看板の掲示、『ハピリン』・『プリズム福井』内及びタクシードアへの歓迎ステッカーの掲出など、歓迎ムードの高揚を図る。

また、全てのコンベンションを対象に、福井県紹介 DVD やネームタグ等の無料貸し出しや、各種観光パンフレットの無償提供などを行い、主催者を支援する。

③ コンベンション活用観光宣伝事業 ≪900千円 (900千円)≫

大型コンベンションを中心に、JR 駅構内や会場内に観光案内ブースを設置し、「福井県越前若狭の観光宣伝隊」及び「ふくい観光おもてなしガイド」が、コンベンション参加者に対して、県内観光地の案内と PR を行う。

(2) コンベンション広報・宣伝の事業 【5,032千円 (970千円)】

1) 専用ホームページによる情報発信 [440千円 (82千円)]

当財団ホームページのコンベンション専用サイトで、福井でのコンベンション開催に関する「開催助成金制度」、「支援サービス」、「コンベンション施設」、「宿泊施設」など主催者に有益な情報を提供する。また、施設情報については最新の情報を更新し、全県下で情報共有を行う。

2) コンベンションパンフレット等の作成、配布 [441千円 (121千円)]

平成31年度から拡充される、新たな開催助成金制度を始め、支援サービスやエクスキージョンの提案などのサポートメニュー等を掲載したパンフレットを作成。コンベンション主催者及び関係者に配布し、広く周知を行い、県内開催を促す。

**3) 専門誌等による広報・宣伝** [4,151千円(767千円)]

**① 機関誌「コンベンション・エクスプレス」の発行**

コンベンション情報や福井の文化、観光、イベント、賛助会員紹介などの旬な情報を掲載した機関誌「Fukui Convention Express」を年2回(6月・1月)発行し、県内外のコンベンション主催者、各種関連団体等へ広く発信する。

また、機関誌送付時に、賛助会員企業・団体のパンフレット等の同封サービスを実施する。

**② 専門誌等に対する広報・宣伝記事の掲載**

コンベンション専門誌「MICE Japan」や各種団体の機関誌やホームページに、新たな開催助成金制度を始めとする、広報宣伝記事を掲載し、全国のMICE主催者やPCO等に対し、コンベンション誘致を働きかける。

**(3) コンベンション情報の収集、提供、活用の事業** [748千円(137千円)]

**1) コンベンション開催予定調査事業** [455千円(83千円)]

県・市町連携のもと、県内の自治体や大学、研究機関、各種団体等を対象に、翌年度以降に開催が予定されているコンベンション等(会議大会・スポーツ大会・イベント・見本市)の調査及び今後、県内誘致の可能性のあるコンベンション情報を調査し、「コンベンションスケジュール」を作成し、ホームページで発信する。

また、賛助会員には専用のIDとパスワードを付与し、主催者情報などを提供するなど、ビジネスチャンスを創出する機会を提供する。

**2) 県内開催データの収集、データベース化事業** [293千円(54千円)]

上記の開催予定調査から収集された情報、及びコンベンション開催におけるサポート支援業務など、あらゆる機会を捉えて得られる開催情報をマーケティングデータとしてデータベース化し、誘致情報に加えて管理し、効率的な誘致活動につなげる。

## 2. 観光振興事業（公益目的事業2）

### （1）観光受入事業 【69,485千円（58,108千円）】

#### 1）観光団体・人材育成事業 <受入態勢整備強化事業> [3,493千円（1,328千円）]

##### ① ふくい観光未来塾（ガイド養成講座）（市受託事業）

主にまちなかを中心に活躍するおもてなし観光ガイド人材の養成を目的として、観光基礎、コミュニケーション手法などを学ぶカリキュラムを組み、福井の魅力をしっかりと伝えることができ、福井を訪れたお客様に満足していただけるようなガイド養成講座を開講する。

##### ② 観光団体等向け講座（公開講座）

観光おもてなしガイドや賛助会員をはじめとする観光関連団体等、福井の観光を担う人材育成を目的として公開講座を開講する。

とりわけ昨今では、画像投稿アプリ「インスタグラム」などのソーシャル・ネットワークワーキング・サービス（SNS）が観光客の旅程決定に強い影響力を持つ中、「インスタグラム入門講座」を実施し、観光スポットや食、お土産等の魅力を直接個人に届ける情報発信力の強化を図る。

##### ③ 賛助会員研修

賛助会員間の連携及び観光関連団体のレベルアップを目的として、県内観光地の新たな取り組みや話題のスポットの視察研修を実施する。

#### 2）広域観光連携推進事業 <受入態勢整備強化事業> [2,587千円（947千円）]

##### ① 賛助会員との連携体制強化による広域観光の推進

市内及びその周辺の広域観光の推進を目的として、JR、えちぜん鉄道、福井鉄道、京福バス、タクシー等交通事業者連携（2次交通対策）をはじめ、国内・県内観光産業に関する情報収集等、賛助会員との連携強化を図る。

##### ② 広域観光連携組織への参画

効果的な広域観光事業の展開を目的として、広域団体が実施する報告会、研修会への参加や県内の広域連携組織（ふくいやまぎわ天下一街道広域連携協議会、一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会等）の活動など情報交換の場に積極的に参画する。

3) まちなか観光振興事業 <観光催事推進事業> [26,720 千円 (24,680 千円)]

① ふくい桜まつり (ふくい桜まつり実行委員会事業) <<1,080 千円 (80 千円)>>

「福井市のイメージアップ」、「福井市の地域経済の活性化」、「地域の新たな魅力創出」を目的として、主に「まちなか」、「浜町」を舞台にふくい桜まつりを実施する。期間は、平成 30 年 3 月 31 日 (土) から 4 月 15 日 (日)。

※ ふくい桜まつり総事業費 58,000 千円

② 福井フェニックス花火事業 <<25,640 千円 (24,600 千円)>>

足羽川河川敷において、福井フェニックスまつりのオープニングとして、まちなかの夜空を彩る福井フェニックス花火を実施する。平成 30 年 8 月 3 日 (金) を予定。

4) イルミネーション事業 <観光施設整備活用事業> (市受託事業)

[10,000 千円 (9,559 千円)]

来訪する観光客の満足度向上及び宿泊・滞在型観光の推進を目的として、夜間景観を演出する。

① 足羽川桜並木ライトアップ

ふくい桜まつりの実施に合わせて、日本さくら名所 100 選の「足羽川桜並木 (足羽川左岸：幸橋～新明里橋間)」をライトアップする。

期間は、平成 30 年 3 月 31 日 (土) ～4 月 15 日 (日)。

5) まちなか周遊促進事業<受入態勢整備強化事業> [5,441 千円 (2,768 千円)]

① 幸 FULL-TICKET 事業

まちなかの回遊性の向上を目的として、福井のグルメ・スイーツ・お土産などを気軽に楽しめるお得な 1,000 円チケットを販売する。まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」の特典やふくいまちなか観光周遊バス等 2 次交通の案内も付加する。

また、旅行会社のツアー商品に組込む営業を行うほか、外国人観光客に向けた英語版の案内も作成する。

② まち旅博覧会開催事業 (市受託事業)

観光客が「五感」で体験できる観光メニューの充実を目的として、市内の様々な事業者が体験素材開発に取り組むサイクルを構築しながら、市内全域で「体験・交流型観光メニュー」を愉しむことができるイベント「まち旅博覧会」を開催する。

6) 観光案内所運營業務事業 (市受託事業) [18,738 千円 (17,911 千円)]

福井の玄関口としてのおもてなし機能の充実を目的として、ウェルカムセンター(福井市観光案内所)を運営し、観光案内業務に加えて、交通切符販売、手荷物配送、傘・長靴無料貸出し等のサービスを実施する。

(基本機能) 観光案内、パンフレット設置・送付、電話等対応

(サービス機能) 交通切符販売、手荷物配送、雨具貸出、車椅子貸出、自転車レンタル、ふくい観光おもてなしガイド受付

7) 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会おもてなし強化事業

[2,506 千円 (915 千円)]

「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会で来福される競技者、応援者の市内回遊性の向上を目的として、福井市国体企画室・おもてなし観光推進課と連携し、賛助会員団体の協力を得ながら、市内観光情報やまちなかの飲食・お土産、まちなか観光周遊バスやふくチャリなどの情報を掲載した冊子を作成する。

(2) 観光誘致事業 【8,790 千円 (3,507 千円)】

1) 観光情報受発信事業 [6,323 千円 (2,604 千円)]

① ホームページ等による観光情報受発信

(ア) ホームページ等による観光情報受発信

主に観光客への情報提供を目的として、ホームページ「ふくい city ナビ」において、観光基礎情報、観光物産品やその取扱事業者(賛助会員)の紹介を始め、特集ページ、SNS での定期的な情報発信や宿泊プラン比較検索機能等の提供を行う。

また、誘客ツールとして直接的な効果が大きく期待される SNS での情報発信に積極的に取り組む。

■ Instagram [幸ふるまち ふくい]  
[http://instagram.com/yukifull\\_fukui](http://instagram.com/yukifull_fukui)

■ Twitter [幸ふるまち ふくい]  
[https://twitter.com/yukifull\\_fukui](https://twitter.com/yukifull_fukui)

(イ) ホームページ更新事業 (市受託事業)

ホームページ「ふくい city ナビ」のサーバー管理を行う。

②パンフレット等郵送

観光客や観光関連事業者への情報提供を目的として、パンフレット等の郵送を行う。



### ③ウェルカムティッシュの作成及び設置

来訪した観光客への情報提供を目的として、福井滞在に有益な情報（駅周辺、アクセス、飲食・宿泊施設、観光地、避難所等）を掲載した「ウェルカムティッシュ」を作成し、宿泊施設フロントでの提供を実施する。

## 2) 観光誘致プロモーション事業

[2,467千円(903千円)]

国内外から福井へ誘客を図るため、観光PRイベントや商談会などに参加しPR活動を実施する。

## 3. 賛助会員サービス

### (1) 賛助会員のPR

機関誌「Fukui Convention Express」、 「たべあるきマップ」及びホームページで賛助会員の紹介やPRを行う。

また、コンベンション主催者から当財団に寄せられる専門業者等の紹介依頼や各種問い合わせに対して、会員企業を優先的に紹介する。

### (2) MICE情報の提供

会員専用の「賛助会員様向けコンベンションスケジュールページ」にて、ビジネスチャンスを生み出す機会として「MICEの開催情報」に加え、「主催者情報」を提供する。

### (3) 研修会・セミナーの開催

観光・コンベンション等に関する研修会やセミナーを開催し、様々な情報の提供や会員相互の交流を図る。他団体主催の関連セミナー等の情報提供も行う。

### (4) ブース出展の案内

当財団が出展する国内外での商談会で、賛助会員が取り扱う特産品・土産品・工芸品等の紹介や展示、委託販売を行うほか、コンベンション開催会場における販売ブース出展の案内を行う。

### (5) その他

機関誌「Fukui Convention Express」に会員情報を同封するサービス、及び当財団事務所前のパンフレットラックに、希望により会員のパンフレット配架を行う。

平成30年度 正味財産増減予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A - B)	公益目的事業会計				法人会計 (管理費)	合計
				(公1) コンベンション振興事業	(公2) 観光振興事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	6,622,000	6,622,000	0					6,622,000	6,622,000
基本財産運用利息	6,622,000	6,622,000	0					6,622,000	6,622,000
受取会費	11,140,000	11,140,000	0	4,640,000	0	3,250,000	7,890,000	3,250,000	11,140,000
企業等賛助会員受取会費	6,500,000	6,500,000	0	0	0	3,250,000	3,250,000	3,250,000	6,500,000
市町賛助会員受取会費	4,640,000	4,640,000	0	4,640,000	0	0	4,640,000	0	4,640,000
事業収益	51,457,000	55,818,000	△ 4,361,000	1,492,000	49,965,000	0	51,457,000	0	51,457,000
コンベンション振興事業収益	1,492,000	1,200,000	292,000	1,492,000	0	0	1,492,000	0	1,492,000
観光振興事業収益	49,965,000	54,618,000	△ 4,653,000		49,965,000		49,965,000		49,965,000
受取補助金	45,101,000	45,968,000	△ 867,000	23,291,000	21,810,000	0	45,101,000	0	45,101,000
受取福井県補助金	12,584,000	12,584,000	0	12,584,000	0	0	12,584,000	0	12,584,000
受取福井市補助金	32,517,000	33,384,000	△ 867,000	10,707,000	21,810,000	0	32,517,000	0	32,517,000
受取負担金	8,648,000	10,681,775	△ 2,033,775	8,648,000	0	0	8,648,000	0	8,648,000
コンベンション開催市町負担金	8,648,000	10,681,775	△ 2,033,775	8,648,000	0	0	8,648,000	0	8,648,000
雑収益	860,000	5,000	855,000	0	0	0	0	860,000	860,000
雑収益	860,000	5,000	855,000					860,000	860,000
経常収益計	123,828,000	130,234,775	△ 6,406,775	38,071,000	71,775,000	3,250,000	113,096,000	10,732,000	123,828,000
(2) 経常費用									
事業費	116,346,000	123,607,775	△ 7,261,775	38,071,000	78,275,000	0	116,346,000		116,346,000
給料手当	21,294,000	21,888,000	△ 594,000	9,464,000	11,830,000		21,294,000		21,294,000
福利厚生費	7,344,000	7,889,000	△ 545,000	3,264,000	4,080,000		7,344,000		7,344,000
退職給付金	162,000	112,000	50,000	72,000	90,000		162,000		162,000
報償費	480,000	710,000	△ 230,000	38,000	442,000		480,000		480,000
旅費交通費	1,680,000	1,683,000	△ 3,000	970,000	710,000		1,680,000		1,680,000
通信運搬費	971,000	1,002,000	△ 31,000	372,000	599,000		971,000		971,000
減価償却費	0	0	0	0	0		0		0
什器備品費	0	450,000	△ 450,000	0	0		0		0
消耗品費	1,795,000	2,254,000	△ 459,000	631,000	1,164,000		1,795,000		1,795,000
印刷製本費	3,319,000	2,277,000	1,042,000	316,000	3,003,000		3,319,000		3,319,000
食糧費	248,000	262,000	△ 14,000	0	248,000		248,000		248,000
燃料費	93,000	126,000	△ 33,000	45,000	48,000		93,000		93,000
光熱水料費	126,000	517,000	△ 391,000	54,000	72,000		126,000		126,000
使用料及び賃借料	620,000	694,000	△ 74,000	206,000	414,000		620,000		620,000
保険料	160,000	210,000	△ 50,000	0	160,000		160,000		160,000
租税公課	1,498,000	1,557,000	△ 59,000	0	1,498,000		1,498,000		1,498,000
負担金補助及び交付金	1,192,000	1,283,000	△ 91,000	534,000	658,000		1,192,000		1,192,000
助成金	18,563,000	20,596,775	△ 2,033,775	18,563,000	0		18,563,000		18,563,000
委託費	56,748,000	60,076,000	△ 3,328,000	3,518,000	53,230,000		56,748,000		56,748,000
広告宣伝費	0	0	0	0	0		0		0
支払手数料	53,000	21,000	32,000	24,000	29,000		53,000		53,000
雑費	0	0	0	0	0		0		0
管理費	7,482,000	6,627,000	855,000					7,482,000	7,482,000
給料手当	2,365,000	1,545,000	820,000					2,365,000	2,365,000
福利厚生費	816,000	557,000	259,000					816,000	816,000
退職給付金	18,000	8,000	10,000					18,000	18,000
旅費交通費	27,000	5,000	22,000					27,000	27,000
通信運搬費	462,000	401,000	61,000					462,000	462,000
減価償却費	0	0	0					0	0
什器備品費	600,000	934,000	△ 334,000					600,000	600,000
消耗品費	662,000	519,000	143,000					662,000	662,000
印刷製本費	123,000	141,000	△ 18,000					123,000	123,000
食糧費	18,000	400,000	△ 382,000					18,000	18,000
燃料費	36,000	17,000	19,000					36,000	36,000
光熱水料費	54,000	36,000	18,000					54,000	54,000
使用料及び賃借料	194,000	223,000	△ 29,000					194,000	194,000
租税公課	105,000	105,000	0					105,000	105,000
支払負担金	120,000	139,000	△ 19,000					120,000	120,000
委託費	813,000	1,000,000	△ 187,000					813,000	813,000
広告宣伝費	153,000	132,000	21,000					153,000	153,000
支払手数料	713,000	110,000	603,000					713,000	713,000
修繕費	100,000	100,000	0					100,000	100,000
雑費	103,000	255,000	△ 152,000					103,000	103,000
経常費用計	123,828,000	130,234,775	△ 6,406,775	38,071,000	78,275,000	0	116,346,000	7,482,000	123,828,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	△ 6,500,000	3,250,000	△ 3,250,000	3,250,000	0
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計									
当期経常増減額	0	0	0	0	△ 6,500,000	3,250,000	△ 3,250,000	3,250,000	0

